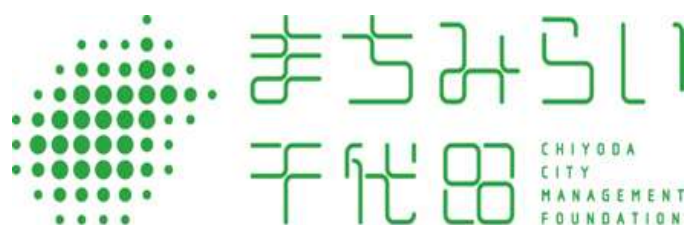


《第9期》  
事業報告書

(令和3年6月1日～令和4年5月31日)



令和4年7月

公益財団法人 まちみらい千代田

# 目 次

はじめに .....	1
事業体系図 .....	2
事務局組織図 .....	4
第9期事業報告	
住宅まちづくり .....	5
～快適な都心居住に向けて～	
産業まちづくり .....	35
～地域産業の振興に向けて～	
協働まちづくり .....	52
～理解と協力のまちづくりに向けて～	
理事会・評議員会・監査 .....	60

## はじめに

当財団は、平成26年に公益認定を受けて以来、この度、第9期の決算を迎えることになりました。

第9期決算は2つの特徴があります。

第一は、前期末をもって終了した借上型区民住宅事業の事業終了に伴い、過去の決算の中で、事業規模は最も小さくなりました。

具体的には、経常収益は、1億8493万円余となり、前期対比▲2362万円余の減、▲11.3%の減となりました。これは主に基本財産運用益や特定資産運用益の増はあるものの、借上げ型区民住宅事業終了にともなう区民住宅供給事業収益の皆減（▲288万円余）や会議室使用料収益（▲654万円）、受取利息（▲1400万円）の減などによるものです。

一方、経常費用は、2億1441万円余となり、前年度対比▲1139万円余の減、▲5.0%の減となりました。

第二は、前期における新型コロナウイルス感染症の拡大による事業運営への影響を踏まえ、事業運営方法の工夫に取り組みました。

とりわけ、受付窓口の電子化や、講座・講習会のオンライン開催など、情報通信機器の活用により、事業を完全に休止・中止することなく事業の継続を図ることができました。

一方で、会議室の提供事業の稼働率の低下は著しく、稼働率は前期比▲25.7ポイント減の19.5%にまで低下しました。対面での会議の有用性は今後も変わらないと考えていますが、オンライン会議の普及やテレワークの定着など、社会経済情勢の変化を注視していく必要があります。

今後とも、ウィズ・コロナ（コロナとの共生）を念頭に置きながら、情報通信機器の活用による事業運営など、利用者目線に立った事務運営方法の工夫に積極的に取り組み、財団の設立目的の達成に向け、鋭意取り組んでまいります。

令和4年7月

公益財団法人 まちみらい千代田

# 事業体系図

## 住宅まちづくり ～快適な都心居住に向けて～

「暮らす」をテーマに 安全安心で住みやすい居住環境づくりのお手伝いをします

### 1 マンション居住支援

#### (1) 情報収集・発信

ア 総合相談窓口の設置（拡充）	6
イ マンション管理関係図書の貸出し及び活用	7
ウ 情報紙の発行	8
エ 管理会社との連絡会の開催	10
オ マンションカルテの更新	11

#### (2) 管理・コミュニティ支援

ア マンションの総会会場費助成	12
イ まちづくりアドバイザーの派遣（拡充）	13
ウ マンション管理講座の開催（拡充）	14
エ 千代田区マンション連絡会の開催	16
オ マンションのコミュニティ活性化事業助成	17
カ コミュニティ・イベントへの参加	19
キ マンション管理組合顧問派遣	20

#### (3) マンション再生支援

ア マンション劣化診断調査費助成（拡充）	24
イ マンション再生方針検討助成（拡充）	25
ウ マンション再生計画検討助成	27
エ 分譲マンション共用部修繕工事債務保証料助成	28
オ 再開発・共同建築等推進組織に対する助成	29

#### (4) 安全・安心整備支援

ア マンション安全・安心整備（拡充）	30
イ マンション防災計画等の策定支援	31
ウ 防災用品等準備助成	33

## 産業まちづくり ～地域産業の振興に向けて～

「働く」をテーマに企業を活性化し地域社会との良好な関係づくりのお手伝いをします

### 1 中小企業支援

#### (1) 経営支援

ア マネジメント・サポートデスクの実施（拡充）	37
イ 専門家派遣等によるサポート	39
ウ 会議室の提供	41
エ ビジネス法律相談（拡充）	42

#### (2) 活性化成長支援

ア 千代田ビジネス大賞の実施	43
イ インキュベーション施設活動支援（拡充）	44

### 2 起業支援

ア ビジネス起業塾の開催（拡充）	46
------------------	----

### 3 地方との連携

ア 市町村サテライトオフィス東京の運営	49
イ ちよだフードバレーネットワークの連携調整（拡充）	50

## 協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりに向けて～

「集う」をテーマに 皆で取組む魅力のあるまちづくりのお手伝いをします

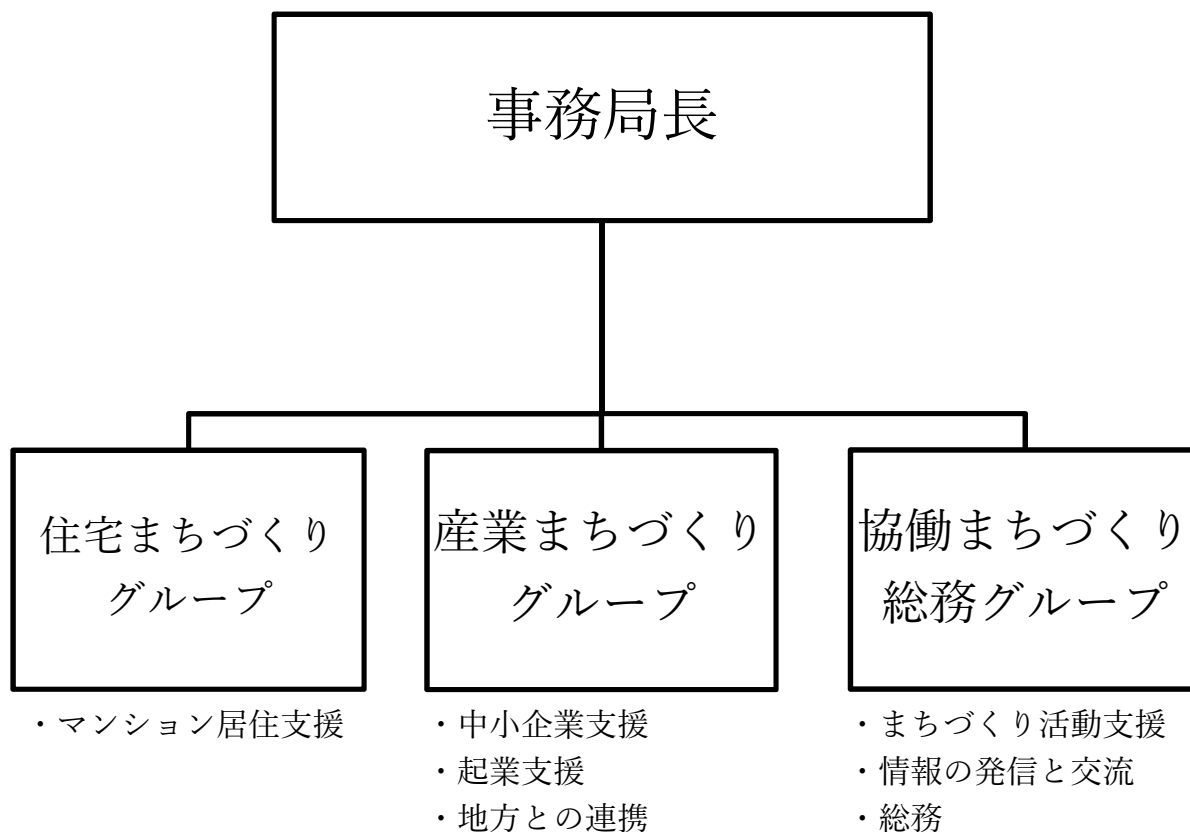
### 1 まちづくり活動支援

ア 千代田まちづくりサポートの実施（拡充）	53
イ 区の花さくら再生基金の管理	56

### 2 情報の発信と交流

ア 「まちみらいニュース」の発行	57
イ 事業報告・交流会の実施	58
ウ まちみらい千代田ウェブサイトの運用	59

公益財団法人 まちみらい千代田  
事務局組織図



# 住宅まちづくり

～快適な都心居住に向けて～

「暮らす」をテーマに、安全安心で住みやすい居住環境づくりのお手伝いをします

第8期決算額

43,523,201 円

第9期決算額

46,939,210 円

## 1 マンション居住支援

まちみらい千代田は、マンション居住支援の一環として総合相談窓口の設置、各種情報提供、管理組合等へのアドバイザー派遣、マンションの適正な維持管理等に対して、助成支援を行っています。

千代田区のマンションは、国内でも早い時期から建設・供給されてきました。初期に建設されたマンションでは、躯体や設備の劣化・陳腐化等を改善し、今後も快適に居住できる建物への再生（長寿命化・建替え）方針の検討が必要となってきます。建物や設備の再生には多額の費用がかかるため、再生の方針や計画を検討し、区分所有者皆さんの合意形成が大切となります。そのような検討の中で、計画がとん挫しやすい初期の段階に透明性と公平性を担保しながらスムーズに進められるように支援していきます。

また、昨今のコロナ禍により、窓口相談や各種アドバイザー派遣業務では中止になる期間が暫く続きました。地域やマンションでのイベントも軒並み中止となり、総会や理事会、勉強会等の開催が困難で、延期する管理組合も多くみられました。それにより、まちみらい千代田への相談や助成制度の申請件数が激減した一方、コロナ禍においても組合運営に支障がないオンラインで開催する管理組合も増えてきました。それに合わせ、国も標準管理規約を改正する等の対応が進められています。

このような流れに対応するべく、まちみらい千代田では、オンラインでの相談や各種アドバイザー派遣、勉強会等の開催を進め、管理組合の皆さまが活用しやすい体制を整備しました。今後もさらに管理組合の皆さまが活用しやすい支援策となるように改善していきます。

# 1 マンション居住支援

決算額 27,070,416 円  
(執行率 50.1%)

## (1) 情報収集・発信

### ア 総合相談窓口の設置 (拡充)

□予算額 4,558 千円 (第 8 期 4,558 千円)

□決算額 4,530,970 円 (執行率 99.4%)

□事業内容

マンションに関するさまざまな相談を、窓口・電話・電子メールなどで受け付け、的確なアドバイスを行うことにより、課題解決に向けたサポートを実施しています。さらに専門的知識を活用するため、マンション管理士を常駐配置し相談を行っています。

また、マンションに関する国や東京都、関係団体等の動向、マンションの抱えるさまざまな課題等について、指導・助言を行う顧問を委託します。

□実施時期 通年 平日の午前 9 時から午後 5 時まで対応

(マンション管理士は午前 10 時から午後 4 時まで)

□事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
相談件数	300 件	263 件	87.6%

### [第 9 期実施状況]

窓口や電話、メールでの相談だけではなく、オンラインの相談体制も整備しましたが、相談はすべて窓口・電話・メールとなっており、オンラインでの相談実績はありませんでした。

第 10 期ではオンラインによる相談や、各種アドバイザー派遣、各種助成制度申請の事前相談等について幅広く周知を行い、オンラインの活用を促します。

今後は、オンライン活用のパンフレットを作成し、区内マンション等へ配布していきます。また、今までに実際に受けた相談内容を精査し、複数のマンション管理士による見解を総合的にまとめた事例資料を共通認識として継続的に作成しています。今後もこの資料をテキストに、常駐マンション管理士による勉強会を実施し、職員の知識向上を図っていきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
相談件数	216 件	362 件	264 件	263 件



## イ マンション管理関係図書の貸出し及び活用

予算額 30 千円 (第 8 期 30 千円)

決算額 24,853 円 (執行率 82.8%)

事業内容

マンションの管理等に関する書籍を購入し、マンション管理組合の役員等や総合相談窓口での相談者等の書籍を必要とする人に、無料で貸出します。

また、総合相談窓口や電話やメールでの相談等にも活用します。

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
新規蔵書数	10 冊	13 冊	130.0%

### [第 9 期実施状況]

マンションの管理等に係る書籍を購入し、管理組合の役員等を対象に貸し出しを行っています。

第 9 期には「避難所に行かない防災の教科書」、「壊さないマンションの未来を考える」などの書籍を購入しました。また、マンションの防災や管理に関する書籍、新型コロナウイルス感染症対策についての書籍を購入し、より幅広いニーズに対応できるよう内容を充実させました。書籍の貸し出し利用促進するため、まちみらい千代田の HP や広報紙等に蔵書リストを掲載する他、各種派遣の際等に案内していきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
新規蔵書数	19 冊	18 冊	11 冊	13 冊



## ウ 情報紙の発行

予算額 5,757 千円 (第 8 期 5,767 千円)

決算額 5,387,920 円 (執行率 93.5%)

事業内容

① マンションサポートちよだ

マンションの維持管理やマンション生活に役立つ情報を情報紙としてとりまとめ、年 4 回 (6 月、9 月、12 月、3 月を予定) 合計 8,000 部を分譲マンションの管理組合、居住者、関係機関等へ配付します。

② マンションサポートちよだ mini

マンションに関するトピックスや、国、東京都のマンション施策の動向などタイムリーな情報を毎月、分譲マンション約 500 棟へ配付します。

③ マンションへの情報提供

区コミュニティ総務課と連携し、区やまちみらい千代田、関係団体等からの情報を取りまとめ、毎月、分譲マンション管理組合へ配付します。

実施時期 通年

事業実績

	記事内容の満足度 (目標)	第 9 期実績	達成率
① マンション サポートちよだ	「とても満足」「やや満足」が 7 割以上	「とても満足」「やや満足」が 8 割以上	100.0%
② マンション サポートちよだ mini	「とても満足」「やや満足」が 7 割以上	事後アンケート 未実施	—

※事後アンケートによる 5 段階満足度 (とても満足・やや満足・普通・やや不満・とても不満) 調査

### [第 9 期実施状況]

「マンションサポートちよだ」は、区内の分譲マンション約 500 棟に合計約 8,000 部配付しています。内訳は、管理会社を通じて約 100 棟のマンションに約 6,000 部を戸別配付し、戸別配付以外の約 400 棟には管理組合に 5 部ずつ配付して、マンション内への掲示や回覧等を依頼しています。定期的に、区やまちみらい千代田等の案内を送付し、情報が遮断されがちなマンションに情報提供を行ってきました。また、区内分譲マンション及び関係機関に対し年 4 回、1 回につき約 8,000 部を配付、管理組合や管理会社の協力を得られたマンションには各戸配付を行いました。

第 10 期では、これまで以上に各戸配付できるよう、管理組合や管理会社に働きかけていきます。さらに毎月のマンションへの情報提供についても、提供する情報を精査し、受け取ったマンションにとって、より有意義なものとなるように記事を作成します。

[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
①マンションサポートちよだ	事後アンケート未実施	事後アンケート未実施	事後アンケート未実施	「とても満足」「やや満足」が8割以上
②マンションサポートちよだ mini	事後アンケート未実施	事後アンケート未実施	事後アンケート未実施	事後アンケート未実施



## エ 管理会社との連絡会の開催

□予算額 19 千円 (第 8 期 19 千円)

□決算額 7,880 円 (執行率 41.5%)

□事業内容

管理会社との情報交換は、マンション支援を行う上で必要不可欠です。管理会社担当と顔の見える関係を築くため、区内の分譲マンションを管理している管理会社の担当者を集まっていただき、千代田区やまちみらい千代田からの情報提供を行います。

□実施時期 7月～10月

□事業実績

	会議内容の満足度 (目標)	第 9 期実績	達成率
出席会社	「とても満足」「やや満足」が 7 割以上	とても満足」「やや満足」が 10 割	100.0%

※事後アンケートによる 5 段階満足度 (とても満足・やや満足・普通・やや不満・とても不満) 調査

### [第 9 期実施状況]

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送ってきた連絡会を、今期は 2 年ぶり 12 月 3 日 (金) に、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の可能性を考慮しオンラインで開催しました。今までの連絡会は、まちみらい千代田の会議室を使用し、管理会社の担当者を集ってもらい開催していましたが、オンライン開催に変更したため、今まで参加できなかった管理会社も参加できるようになり、参加管理会社が増えました。今後も対面での連絡会ではなく、オンラインで開催し参加管理会社を増やしていきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
出席会社	事後アンケート 未実施	事後アンケート 未実施	中止	とても満足」 「やや満足」が 10 割



## オ マンションカルテの更新

予算額 50 千円 (第 8 期 50 千円)

決算額 0 円 (執行率 0%)

事業内容

過去の調査データをデータベース化したマンションカルテを、マンションの電話相談、窓口相談、アドバイザー派遣時の基礎資料として活用するために、常に最新の状態に更新します。

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
データ更新頻度	月 1 回	月 1 回	100%

### [第 9 期実施状況]

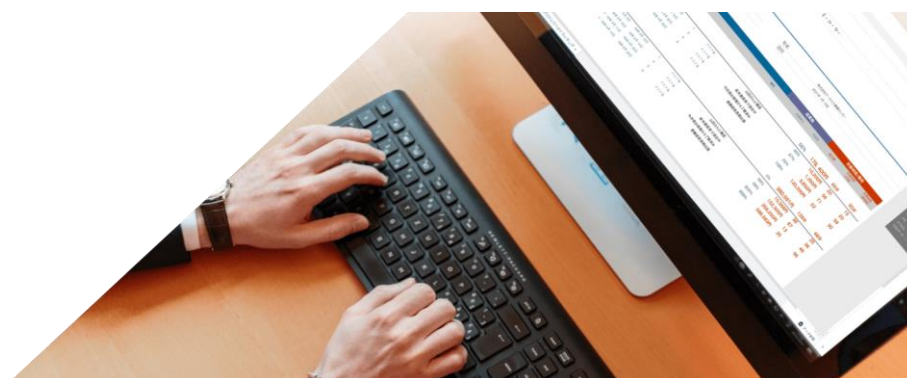
約 3,000 棟の共同住宅のデータベースのうち、支援対象となっている分譲マンションのデータについては、逐次修正・更新し、常に最新の状態で活用しています。

日々の窓口、電話、メールでの相談、アドバイザー派遣の際の基礎資料として活用しているため、新しい情報を入手した際には速やかに職員がデータベースを更新しています。

最新のマンションの状況を把握するために、適宜、職員による区内マンションの悉皆調査を実施しています。第 9 期では、新型コロナウイルス感染症の影響で調査を一時中断していましたが、今後は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、調査を再開していきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
データ更新頻度	月 1 回	月 1 回	月 1 回	月 1 回



## (2) 管理・コミュニティ支援

### ア マンションの総会会場費助成

予算額 69 千円 (第 8 期 51 千円)

決算額 13,000 円 (執行率 18.8%)

事業内容

マンション管理組合の通常総会や臨時総会を開催する際の会場費の一部を助成します。

(助成内容)

①防災計画策定済み・千代田区マンション連絡会加入 助成上限額 6 千円

②その他のマンション管理組合 助成上限額 3 千円

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
①のマンション管理組合	10 組合	5 組合	50.0%
	地区 築年数	総戸数 階数	助成額
	麴町 3 年	31 戸 14 階	6,000 円
	麴町 40 年	106 戸 12 階	1,400 円
	麴町 51 年	19 戸 8 階	3,000 円
	麴町 44 年	63 戸 8 階	900 円
	麴町 4 年	66 戸 19 階	1,700 円
②のマンション管理組合	3 組合	0 組合	0.0%

### [第 9 期実施状況]

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会の開催を延期した管理組合もあることから、申請件数が少なくなっていると考えられます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、一部のマンションでは総会や理事会をオンラインで実施する取り組みが始まっており、今後は徐々にオンライン化が進んでいくものと考えられますが、対面での実施も続くことから、利用を促進していきます。

なお、第 10 期から管理規約の提出を不要とし、煩雑な添付書類を簡素化します。



### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
①のマンション管理組合	4 組合	4 組合	6 組合	5 組合
②のマンション管理組合	1 組合	2 組合	0 組合	0 組合

## イ まちづくりアドバイザーの派遣（拡充）

予算額 720 千円（第 8 期 360 千円）

決算額 160,000 円（執行率 22.2%）

事業内容

マンションの維持管理、再生、管理組合の運営といったマンションに関するさまざまな課題の解決や、共同建築や再開発の初動期における活動に対して、アドバイザーを派遣します。

登録しているアドバイザーには、一級建築士、マンション管理士、再開発プランナーなどの資格を持つ専門家がいます。（1 団体年間 6 回まで派遣可能）

実施時期 通年

アドバイザー派遣の受付は随時行っていますが、実際の派遣は派遣日時・派遣場所・派遣するアドバイザーの調整を行った後になります。

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
派遣件数	24 件	8 件	33.3%

### [第 9 期実施状況]

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、アドバイザーの派遣を状況に応じ中止してきました。適宜派遣を再開していましたが、申請者側で会場等の確保ができず、申請件数は伸びませんでした。

しかし、緊急事態宣言が解除されてからは、会場の確保ができるようになったため徐々に申請件数が増えてきています。併せてオンラインによる開催も整備してきたため、今後も申請件数は伸びることが予想されます。

実施した 8 件のうち 5 件がオンライン「Zoom」による開催でした。内容としては、マンション再生や管理組合運営に関するものが主でした。区内では高経年マンションが増えていることから、今後申請件数が増えていくことが予想されます。

また、オンラインで継続的に勉強会を実施する団体があり、オンラインでの実績が多くなりました。

オンラインは、会場の準備や移動の手間をなくすことができ、接触することもないため、感染対策としてもメリットがあります。第 10 期も、引き続き積極的にオンラインを活用していきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
派遣件数	17 件	12 件	3 件	8 件

## ウ マンション管理講座の開催（拡充）

予算額 199 千円（第 8 期 199 千円）

決算額 121,320 円（執行率 60.9%）

事業内容

マンション管理組合の役員や、マンション居住者等を対象として講座を年間 4 回開催します。

実施時期 7 月から 5 月

事業実績

	講座内容の満足度 (目標)	講座内容の満足度 (第 9 期実績)	達成率
出席者	「とても満足」、「やや満足」が 8 割以上	「とても満足」、「やや満足」が 9 割以上	100%

※事後アンケートによる 5 段階満足度（とても満足・やや満足・普通・やや不満・とても不満）

日時	内容
9 月 15 日 18:30～20:30	マンション防災～災害全般への備え～
11 月 17 日 18:30～20:30	マンション再生～長期修繕計画について～
1 月 19 日 18:30～20:30	マンション再生～大規模修繕に向けた資金計画～
3 月 30 日 18:30～20:30	マンション再生～大規模修繕の進め方～

### 【第 9 期実施状況】

第 9 期は試験的に対面とオンライン「Zoom」を併用するハイブリッド形式で実施し、従来よりも気軽に参加できるように取り組みました。

オンラインやハイブリッドでの講座では、人数制限や会場の制約がなくなり、自宅からの参加も可能になるため、参加の機会を増やすことが可能となります。また、新型コロナウイルス感染症への懸念等から「対面では難しいが、オンラインであれば参加したい」との要望もあり、オンラインでの実施は好評を得ています。一方で、従来どおり対面での参加を希望する方々もいるため、今後は当面、対面とオンラインの併用で開催します。

従来、講師は一般社団法人東京都マンション管理士会都心区支部に依頼していましたが、第 3 回では独立行政法人住宅金融支援機構にも依頼しました。融資の活用方法等について、より詳しい講義をすることができ大変好評だったため、参加者にとってより実のある講座となるよう、今後も様々な団体への講師依頼を検討していきます。



[近年の実績]

		第7期	第8期	第9期
第1回	テーマ	管理組合運営～管理組合と管理会社との関係～	マンション再生～マンションの将来を考える～	マンション防災～災害全般への備え～
	出席者	「とても満足」、「やや満足」が7割以上	「とても満足」、「やや満足」が6割以上	「とても満足」、「やや満足」が8割
第2回	テーマ	長期修繕計画を活用した大規模修繕の進め方	マンション再生～具体的再生検討対策～	マンション再生～長期修繕計画について～
	出席者	「とても満足」、「やや満足」がおおよそ9割以上	「とても満足」、「やや満足」が8割	「とても満足」、「やや満足」が9割以上
第3回	テーマ	マンション再生～再生方針の検討～	ウィズコロナ時代の総会・理事会の運営方法	マンション再生～大規模修繕に向けた資金計画～
	出席者	「とても満足」、「やや満足」が8割	「とても満足」、「やや満足」が9割以上	「とても満足」、「やや満足」が10割
第4回	テーマ	マンション再生～具体的再生検討対策～	マンションでの風水害対策	マンション再生～大規模修繕の進め方～
	出席者	(※1)	「とても満足」、「やや満足」が10割	「とても満足」、「やや満足」が10割

※1 新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止しました。



## エ 千代田区マンション連絡会の開催

□予算額 369 千円（第8期 309 千円）

□決算額 201,424 円（執行率 54.5%）

□事業内容

まちみらい千代田や千代田区からの情報提供のほか会員間の情報交換を行います。会員は、区内マンション管理組合理事長、もしくは理事会等が承認した所有者、居住者です。

□実施時期 偶数月開催

□事業実績

	目標	第9期実績	達成率
延べ参加者数	100 名	61 名	61.0%

開催日	参加人数	主な内容
6 月	—	中止
8 月	19 名	まちみらい千代田 第9期事業概要
10 月	—	中止
12 月	26 名	国交省モデル事業の概要説明及び進捗状況
2 月	—	中止
4 月	16 名	認知症と区の支援制度、最近の管理会社の動向

### [第9期実施状況]

行政各団体等からの情報提供やマンションでの新しい取り組み、課題解決方法を会員間で情報交換し、参考としてもらうために定期的を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでした。ようやく令和3年8月に1年8か月ぶりに開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で度々、開催中止となっていました。令和4年4月以降は、定期的を開催できる見通しとなっているので引き続き定期的を開催していきます。

また、連絡会参加者の要望に沿った情報提供ができるよう、まちみらい千代田の賛助会員の中から、必要に応じてエレベーター保守会社や保険総合代理店等の協力団体に参加を依頼しています。



### [近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
延べ参加者数	107 名	63 名	0 名	61 名

## オ マンションのコミュニティ活性化事業助成

予算額 960 千円 (第 8 期 960 千円)

決算額 136,000 円 (執行率 14.2%)

事業内容

マンションの維持管理や防災対策、管理組合活動などを円滑に進めるため、その前提となるコミュニティ形成に関する活動を支援します。

(助成内容) 対象経費の 1/2 を助成

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
住戸数 100 戸未満のマンション (マンション内に限定して開催)	8 件 助成上限額 4 万円※	0 件	0.0%
住戸数 100 戸未満のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)		0 件	
住戸数 100 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)	4 件 助成上限額 5 万円※	0 件	0.0%
住戸数 100 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)		0 件	
住戸数 200 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)	4 件 助成上限額 7 万円※	2 件	50.0%
住戸数 200 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)		0 件	

※周辺地域の住民も参加できる事業の場合は上限額 1 万円増額

### [第 9 期実施状況]

コロナウイルス感染症の影響により、区内マンションではコミュニティイベントの開催等を自粛したため、11 月末までの申請は 1 件でした。

新型コロナウイルス感染症が完全には収束していないことから、今後もマンションでのイベント実施は自粛されることが考えられます。

一方で、申請のあったマンションでは、リモートを活用したイベントを開催しており、形式を変えて実施される場合も考えられます。こうしたマンションにも制度を活用してもらえよう、周知を図っていきます。

[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
住戸数 100 戸未満のマンション (マンション内に限定して開催)	1 件	1 件	0 件	0 件
住戸数 100 戸未満のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)	0 件	0 件	0 件	0 件
住戸数 100 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)	0 件	1 件	0 件	0 件
住戸数 100 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)	4 件	2 件	0 件	0 件
住戸数 200 戸以上のマンション (マンション内に限定して開催)	－	2 件	1 件	2 件
住戸数 200 戸以上のマンション (周辺地域の住民も参加できる事業)	－	2 件	0 件	0 件

Q. どのような活動が対象になりますか？

A. マンションの管理組合等が自ら主体となって行う事業で、住民の交流によりコミュニティの活性化に資する事業が対象となります。たとえば、納涼会やクリスマス会など居住者が楽しく参加できるイベントや、防災訓練を兼ねたイベントなどです。

※ 物品購入のみや、観光や飲食のみを目的とした事業、その他この支援の趣旨に沿わないと判断される事業は、対象外になることがあります。



## カ コミュニティ・イベントへの参加

予算額 563 千円 (第 8 期 563 千円)

決算額 0 円 (執行率 0%)

事業内容

区で実施しているイベント「福祉まつり」「くらしの広場」に参加し、まちみらい千代田が実施している事業等を周知するとともに、マンション管理士による相談等を実施します。

また、町会等が実施する地域のイベントにまちみらい千代田のブースを設けて参加します。また、イベント実施時に機材を無料で貸し出します。

実施時期

①福祉まつり 10 月頃

②くらしの広場 11 月頃

③町会等の地域イベント 未定

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
参加階数	4 回	1 回	25.0%

### [第 9 期実施状況]

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域のイベントが軒並み中止となったため、イベント参加ができませんでした。区で実施しているイベントのうち、「福祉まつり」は中止となりましたが、「くらしの広場」は冊子による開催となったため、まちみらい千代田の紹介記事を冊子に掲載しました。

町会等地域イベントは、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、麴町・神田地区で 1 回ずつ参加を検討します。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
参加回数	4 回	1 回	1 回	1 回

## キ マンション管理組合顧問派遣

予算額 1,920 千円 (第 8 期 1,920 千円)

決算額 0 円 (執行率 0%)

事業内容

高経年マンションの建物再生の検討にあたっては、まず最初に管理組合運営の適正化、管理規約の整備、長期修繕計画の作成・見直し等を行う必要があります。この初期段階の支援として、顧問を派遣し、マンションの理事会や総会等で助言・指導を行います。

実施時期 通年

派遣期間は、申請から 1 年間とし、申請から 3 ヶ月は随時、派遣顧問の変更が可能です。3 ヶ月経過後は変更する事ができません。

事業実績

	目標	第 9 期実績	執行率
顧問派遣	2 管理組合	0 件	0.0%

### [第 9 期実施状況]

千代田区は早くからマンション建設が始まったため、旧耐震基準で建設されたマンションが 137 棟存在します。全分譲マンション 491 棟の約 28%が旧耐震基準で建設されたマンションでなっています。そのようなマンションに対して建物再生の必要性や進め方等を啓発してきました。なお、現在のところ顧問派遣の依頼はありません。

今後は、東京都の管理状況届出制度を踏まえ、管理不全マンションや管理不全の兆候が見られるマンションが発生した場合には、千代田区と協議しながら当制度を運用していきます。

当制度は、高経年マンションの再生に向けた「下地づくり」(管理組合運営の適正化)を図り、管理不全に陥る前に管理組合を立て直し、建物の再生に向けて検討できるように支援を行っていくセーフティネットとして活用することとしています。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
顧問派遣	0 件	0 件	0 件	0 件

千代田区のマンションにお住まいの方へ

# う え し た 上下二軒両隣

～共同生活知恵袋～



都立中央図書館特別文庫室所蔵

公益財団法人まちみらい千代田

まちみらい千代田では、マンション住まいのヒントをまとめた冊子「上下二軒両隣～共同生活知恵袋」を発行しています。マンション居住におけるマナーとルール、生活音、ゴミ、ペット、バルコニー、防犯、管理組合などに関する記事を掲載しています。千代田区役所や区内各出張所などで無料で配布しているのに加え、まちみらい千代田のウェブサイトでも閲覧できます。

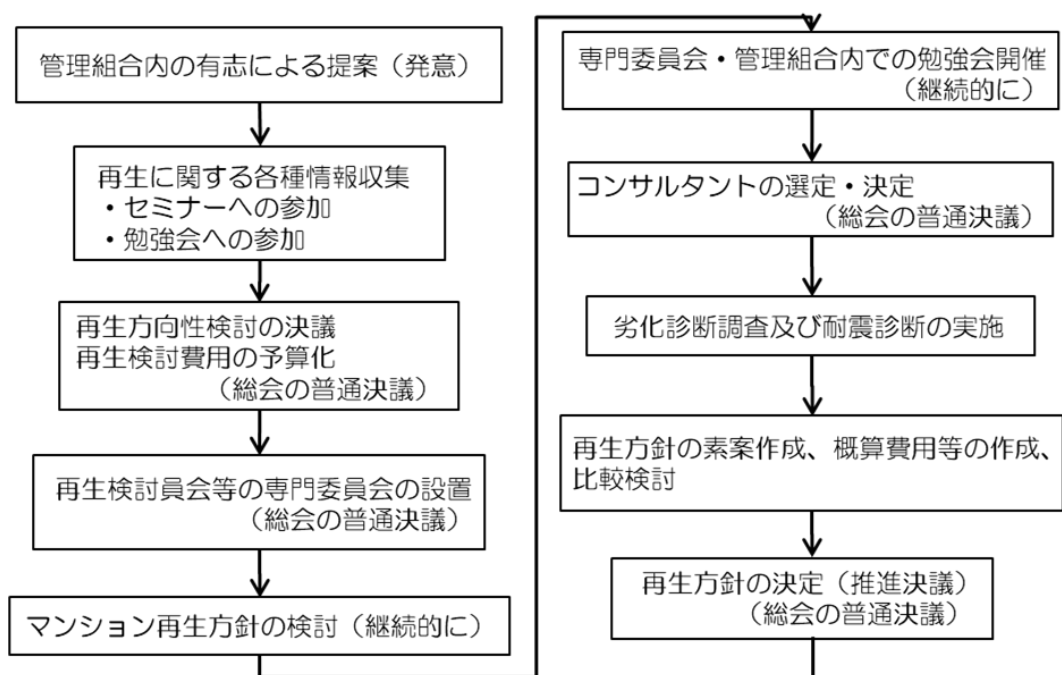
[URL] <https://www.mm-chiyoda.or.jp/living/5410.html>

マンション暮らしの基礎知識として活用いただき、好評を得ています。

## マンション再生の流れ（例）

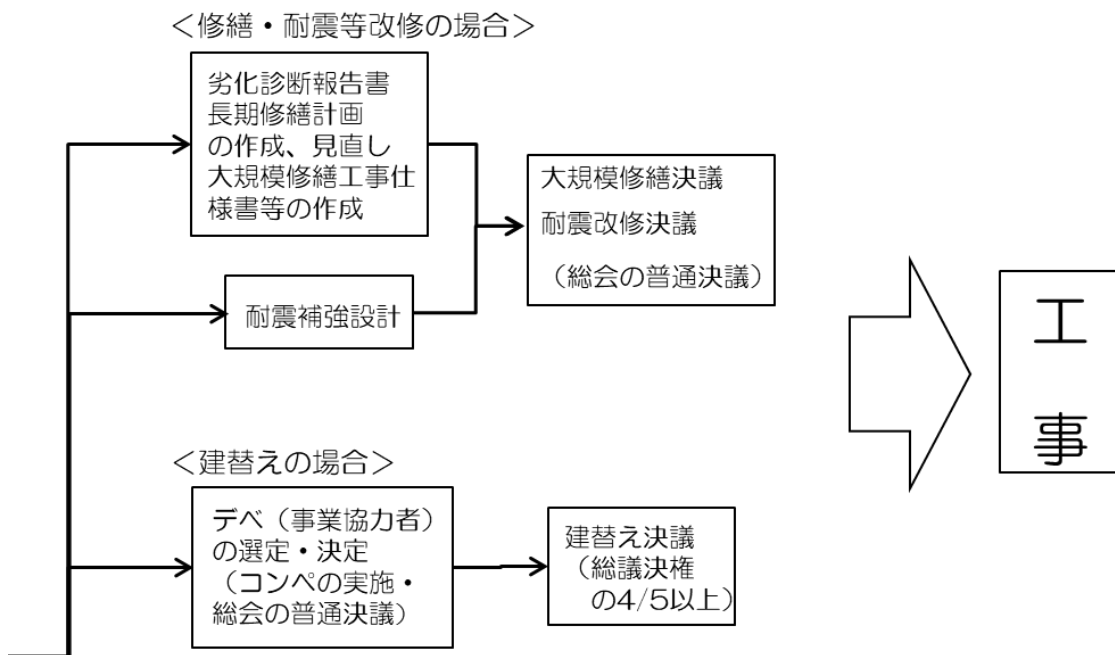
	I 準備段階	II 検討段階
管理組合の	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理組合内の有志による提案</li> <li>管理組合運営の適正化 (規約改正、総会・理事会の開催等)</li> <li>再生勉強会の実施（継続的に）</li> <li>再生検討費用の予算化</li> <li>組織作り（専門委員会等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生勉強会の実施（継続的に）</li> <li>再生（耐震等改修・修繕・建替え）に係る概算費用の比較検討</li> <li>住民意向調査（アンケート等）の実施</li> <li>コンサルタントの選定</li> <li>&lt;修繕の検討&gt;</li> <li>劣化診断調査の実施</li> <li>&lt;耐震等改修の検討&gt;</li> <li>耐震診断の実施</li> </ul> ※再生方針の検討
必要な	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生方向性検討の決議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生方針の決定（推進決議） (修繕・耐震等改修・建替え)</li> </ul> ※コンサルタント等の選定・決定
制既度存	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりアドバイザーの派遣</li> <li>再開発・共同建築等推進組織に対する助成</li> <li>マンション管理組合顧問派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりアドバイザーの派遣</li> <li>劣化診断等調査費助成</li> <li>マンション再生方針検討助成</li> <li>マンションアドバイザー派遣（耐震・区）</li> <li>マンション耐震診断助成（区）</li> </ul>
制新度規		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生に向けた基本方針に関する合意形成 (再生方向性検討の決議)</li> <li>再生方針の継続的検討 ※理事会体制変更時の基本方針の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の再生コーディネート業務を行う、管理者等の選定</li> <li>コンサルタントの選定</li> <li>再生方針のスムーズな合意形成</li> <li>耐震診断実施に向けた合意形成 (重要事項説明書への耐震診断結果の記載)</li> </ul>

例





Ⅲ 計画段階	Ⅳ 実施段階
<修繕の検討> ・長期修繕計画の作成、見直し ・修繕仕様書、修繕工事案の作成 ・工事業者の選定  <耐震等改修の検討> ・耐震補強設計の実施 ・工事業者の選定  <建替えの検討> ・デベロッパー等の事業協力者の選定	・資金計画等の策定  ・施工業者の選定・決定
・修繕、耐震等改修、建替え決議（決定）  ※事業協力者、工事業者の選定・決定	
・まちづくりアドバイザーの派遣 ・マンション耐震補強設計、マンション耐震改修等助成（区） ・建築物共同化住宅整備促進事業（ミニ優良・区） ・都心共同住宅供給事業（都心共同・区） ・マンション再生計画検討助成	・分譲マンション共用部修繕 工事債務保証料助成
・事業協力者（業者）選定時の透明性、公平性の確保  ・計画実現に向けた適正な資金計画作成  ・スムーズな合意形成（建替え決議、修繕決議等）	・建替え等の際の仮住居、 仮店舗の選定 ・住みかえ場所の選定 ・資金借入れ先の選定 ・生活弱者等への救済 ・コミュニティの再生



### (3) マンション再生支援

#### ア マンション劣化診断調査費助成（拡充）

予算額 4,000 千円（第 8 期 3,600 千円）

決算額 2,005,000 円（執行率 50.1%）

事業内容

マンションの長期修繕計画の作成や大規模修繕工事を行う際には、事前に建物の現状把握のために劣化診断調査を行う必要があるため、その費用の一部を助成します。

なお、第 4 期から簡易耐震診断への助成も行っています。

（助成内容）対象経費の 1/2

助成上限額 ①劣化診断調査のみ（50 万円）

②劣化診断調査と長期修繕計画作成（80 万円）

③簡易耐震診断（20 万円）

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
助成件数	8 件	4 件	50.0%
地区	築年数	総戸数	階数
麴町	9 年	46 戸	7 階
神田	9 年	38 戸	14 階
	9 年	32 戸	12 階
	46 年	119 戸	9 階
			助成額
			395,000 円
			425,000 円
			260,000 円
			500,000 円

#### [第 9 期実施状況]

4 件の助成申請を受け、3 件が「劣化診断」、1 件が「長期修繕計画作成見直しを含めた劣化診断」の申請でした。

区内では高経年マンションが増えています。特にそのようなマンションでは、マンションの長期的な工事予定表である長期修繕計画が重要な役割を果たし、社会情勢や経済状況を踏まえ、定期的に見直す必要があります。しかし、近年は劣化診断の実施のみで、長期修繕計画の作成または見直しを行うマンションが少なくなっています。そのため、劣化診断と併せて長期修繕計画の作成または見直しを行った場合に、助成上限額が増額することから、助成金の相談の際に周知し、作成・見直しを推進します。また、大規模修繕工事に関する窓口相談やアドバイザー派遣の際に、制度について紹介し、利用へと誘導していきます。

#### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
① 劣化診断調査のみ	4 件	4 件	5 件	3 件
② 劣化診断調査と長期修繕計画作成	2 件	1 件	0 件	1 件
③ 簡易耐震診断	0 件	0 件	0 件	0 件
助成件数合計	6 件	5 件	5 件	4 件

## 長期マネジメント計画とは

「長期マネジメント計画」は、(公財) マンション管理センターが提唱しているものです。

マンションの長期的な運営方針とそれに相応する修繕・改修のマスタープラン(ハード)及び区分所有者や居住者、社会環境の変化を勘案した組合運営の取り組み方策(ソフト)を一体としたものを「長期マネジメント計画」と定義しています。単に建物を維持管理してだけでなく、経営的な観点も取り入れて、建物および管理組合を運営していくことを目指すことから、「マネジメント」という言葉を使っています。

「長期マネジメント計画」は、マンションの将来像を区分所有者間で緩く共有し、将来起きる事態に備えつつ、円滑な組合活動を進めることを目的として策定します。



## イ マンション再生方針検討助成（拡充）

予算額 5,165 千円（第 8 期 1,000 千円）

決算額 2,566,959 円（執行率 49.7%）

事業内容

建設後 30 年以上経過したマンションで、建物再生の方針を検討する際の事前調査費用やコンサルタント費用等の一部を助成します。

（助成内容）対象経費の 1/3 を助成

助成上限額 100 万円（※）

※ 最初の申請から 3 年間申請でき、その助成額の合計

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
助成件数	1 件	0 件	0.0%

### [第 9 期実施状況]

第 9 期は申請がありませんでした。

本助成の国土交通省モデル事業については、前期に引き続き勉強会を定期的で開催しています。今期は、コンクリート耐用年数評価及び建物劣化診断調査を実施するなど、再生に向けた検討に必要な調査を行いました。

マンションの建替えや大規模修繕など、マンション再生についての相談があった場合や、まちづくりアドバイザー派遣の際に、「高経年・旧耐震マンションの再生支援」パンフレットを配付し制度説明を行ったうえで、活用を働きかけていきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
助成件数	3 件	0 件	0 件	1 件※

※第 9 期の 1 件は、国土交通省のモデル事業の立替え払い分です。



## ウ マンション再生計画検討助成

□予算額 1,500 千円 (第8期 1,500 千円)

□決算額 0 円 (執行率 0%)

□事業内容

建設後 35 年以上経過したマンションで、マンション単棟の建替え等建物の再生を検討する団体に対して活動費用の一部を助成します。

(助成内容) 対象経費の 1/2 を助成

助成上限額 30 万円

※ 最初の申請から 3 年間申請可能

□実施時期 通年

□事業実績

	目標	第9期実績	達成率
助成件数	5 件	0 件	0.0%

### [第9期実施状況]

第9期は申請がありませんでした。

本事業は、建設後 35 年以上経過したマンションを対象としており、「イ マンション再生方針検討助成」から当制度の活用へと誘導します。まちづくりアドバイザー派遣等の場においても制度周知を図っていきます。

今後、申請要件の緩和等、制度の改正を検討していきます。

### [近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
助成件数	0 件	1 件	1 件	0 件



## エ 分譲マンション共用部修繕工事債務保証料助成

予算額 1,000 千円 (第 8 期 1,000 千円)

決算額 500,000 円 (執行率 50%)

事業内容

(独法) 住宅金融支援機構の共用部分リフォーム融資を受け、(公財) マンション管理センターに債務保証を委託した際に、保証料を助成します。

(助成内容) 助成上限額 50 万円

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
助成件数	2 件	1 件	50.0%

### [第 9 期実施状況]

第 9 期は 1 件の申請を受けました。

前期に引き続き、(公財) マンション管理センターや(独) 住宅金融支援機構と情報共有を行い、助成制度の不知による申請漏れをなくします。

なお、高経年マンションの増加等を背景に、(独) 住宅金融支援機構は、令和元年 10 月に「マンション共用部分リフォーム融資」の融資限度額を引き上げるとともに、最長返済期間を 10 年から 20 年に延長しました。よって、今後融資額の増額に伴う債務保証料の増額が想定されるため、第 10 期から助成上限額を 100 万円に引き上げ、まちみらいニュース等で制度を周知します。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
助成件数	1 件	0 件	1 件	1 件



## オ 再開発・共同建築等推進組織に対する助成

予算額 1,000 千円 (第 8 期 1,000 千円)

決算額 0 円 (執行率 0%)

事業内容

住宅を含む再開発や共同建替えを検討する団体に対し、その活動費用の一部を助成します。

(助成内容) 対象経費の 1/2 を助成 (3 年間申請可能)

助成上限額 50 万円

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
助成件数	2 件	0 件	0.0%

### [第 9 期実施状況]

第 9 期は申請がありませんでした。

千代田区には高経年・旧耐震マンションが多く建っていることから、今後も共同建築や再開発の検討が進んでいくことが想定されます。

この制度により、再開発や共同建築の初期段階での費用負担を軽減することで、適切な検討を進められるようにしていきます。

今後、助成上限額の引き上げ等、制度改正を検討していきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
助成件数	1 件	1 件	0 件	0 件



## (4) 安全・安心整備支援

### ア マンション安全・安心整備助成（拡充）

□予算額 11,000 千円（第8期 10,000 千円）

□決算額 3,353,000 円（執行率 30.5%）

□事業内容

共用階段等の「手すり設置または段差解消等」の安全に資する工事を行う場合や、エレベーター（E V）に「地震時管制運転装置」または「戸開走行保護装置」を設置する場合及び E V 更新時に 2 装置と「停電時自動着床装置」を設置する場合に費用の一部を助成します。また、防犯カメラ等の設置・更新費用の一部を助成します。

いずれもマンション防災計画策定済みマンションが対象で、未策定の場合は、できる限り、防災アドバイザー派遣の受け、申請から 1 年以内にマンション防災計画を作成・提出することを条件とします。

□実施時期 通年

□事業実績

	目標	第9期実績	達成率	助成上限額
①手すり設置または段差解消	3 棟	0 棟	0.0%	100 万円
②地震時管制運転装置	1 基	0 基	0.0%	30 万円
③戸開走行保護装置	1 基	2 基	200.0%	30 万円
④3 装置を含む E V 更新	4 基	2 基	50.0%	100 万円
⑤防犯カメラ等の設置	2 棟	1 棟	50.0%	30 万円
⑥防犯カメラ等の更新	4 棟	2 棟	50.0%	20 万円
⑦感染症拡大防止策実施	10 棟	0 棟	0.0%	20 万円

※①～④：対象経費の 1/3 を助成、⑤、⑥：対象経費の 1/2 を助成

⑦：対象経費の 2/3 を助成

### [第9期実施状況]

エレベーターリニューアルについて 2 棟のマンションから申請を受けたものの、第 8 期に引き続き、第 9 期も新型コロナウイルス感染症の影響で全体的に申請件数が伸びませんでした。

今後も共用部分のバリアフリー化やエレベーターリニューアル、防犯カメラ設置等によるマンションの安全・安心を推進していきます。

また、マンション内で新型コロナウイルス感染者が発生した際にいち早く対応するため、共用部分の除染作業について、費用の一部を助成しています。



[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
①手すり設置または段差解消等	1棟	2棟	1棟	0棟
②地震時管制運転装置	0基	0基	0基	0基
③戸開走行保護装置	0基	1基	0基	2基
④3装置を含むE V更新	6基	3基	1基	2基
⑤防犯カメラ等の設置	1棟	0棟	1棟	1棟
⑥防犯カメラ等の更新	—	—	2棟	2棟
⑦感染症拡大防止策実施	—	—	0棟	0棟



## イ マンション防災計画等の策定支援

予算額 2,026 千円 (第 8 期 2,706 千円)

決算額 70,000 円 (執行率 3.5%)

事業内容

マンションの防災計画策定を予定している管理組合に対して、防災アドバイザーを派遣し、そのマンションの実態に合った計画策定の支援を行います。

また、防災計画策定に関連してマンション内の自主防災組織の立ち上げや防災訓練の実施についても支援します。

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
派遣棟数	8 棟	4 棟 (4 回)	50.0%

### [第 9 期実施状況]

4 棟のマンションに対しアドバイザー派遣を実施しました。そのうち 1 棟では、第 10 期中にエレベーター閉じ込め救出訓練を実施したいとの意向があり、日程等の調整を行っています。

既に派遣を行ったマンションで、エレベーター閉じ込め救出訓練の実施等に向けた継続的な派遣を検討しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響による自粛が徐々に緩和されている中で、防災訓練等の取り組みを始めるマンションが出てくることも考えられます。

また、防災の基礎的なことだけでなく、水害対策としてのタイムラインの策定支援など、応用的なアドバイスを求められるケースも出ており、区内マンションの防災力の向上に貢献しています。

今後も、マンション管理講座等の際、制度周知を図るとともに、引き続き感染対策を十分に行いながら、各マンションで自発的に防災に取り組んでもらえるよう働きかけていきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
派遣棟数	3 棟 (4 回)	4 棟 (7 回)	3 棟 (3 回)	4 棟 (4 回)



## ウ 防災用品等準備助成

□予算額 13,133 千円 (第8期 10,233 千円)

□決算額 7,992,090 円 (執行率 60.9%)

□事業内容

エレベーター (EV) キャビネットの配付、AED の設置及び災害用資器材等の購入費を助成します。

マンション防災計画策定済みマンションが対象で、未策定の場合は、防災アドバイザー派遣の受け入れを条件とします。

### ①EV キャビネットの配付

エレベーターでの閉じ込めの際、救助までの間に必要となる物資を入れたキャビネットを配付します。

### ②AED の設置

マンション内だけではなく近隣地域で利用できる AED をマンションに設置する場合、AED と収納ボックスを無償提供します。

### ③災害用資器材等購入費助成

災害発生時に必要となる備蓄物資の購入費用を助成します。近年の台風・大雨被害の状況を踏まえ、浸水対策資器材を購入する場合には補助上限額が増額となります。

(助成内容) 分譲新規 (対象経費の 2/3)、分譲更新及び賃貸 (対象経費の 1/2) を助成

□実施時期 通年

□事業実績

	目標	第9期実績	達成率	助成上限額	
①EV キャビネットの配付	12 台	5 台	41.7%	—	
②AED の設置	12 台	4 台	33.3%	—	
③災害用資器材 購入費助成	分譲新規	10 件	8 件	80.0%	20 万円※
	分譲更新	8 件	2 件	25.0%	15 万円※
	賃貸	2 件	0 件	0.0%	10 万円※

※浸水対策資器材を購入する場合は助成上限額が 20 万円増額

## [第9期実施状況]

災害用資器材等購入費助成は新規に 8 件のマンションから申請がありました。そのうち 1 件のマンションで浸水対策まで行いました。

なお、令和 3 年 7 月と令和 4 年 4 月にそれぞれ 1 件、まちみらい千代田から貸与した AED を使用し、実際に応急処置が行われたケースがありました。

AED が実際に活用されたり、浸水対策に取り組むマンションが増えるなど、助成制度が有効に活用されていることがうかがえます。防災アドバイザー派遣等の場等を活用しながら、災害への事前の備えが必要であることを知ってもらい、より多くのマンションで助成制度申請へと誘導していきます。

また、今後エレベーター閉じ込め救出訓練を実施する意のマンションでは、実施に向けた調整を進めるとともに、その他のマンションに対しても啓発や防災訓練の促進を図っていきます。

[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
①EVキャビネットの配付	6台	9台	1台	5台
②AEDの設置	3台	8台	3台	4台
③災害用資器材等購入費助成	5件	10件	12件	10件



# 産業まちづくり

～地域産業の振興に向けて～

「働く」をテーマに、企業を活性化し地域社会との良好な関係づくりのお手伝いをします

第 8 期決算額

63,120,592 円

第 9 期決算額

69,144,117 円

## 1 中小企業支援

中小企業支援については「経営支援」と「活性化成長支援」の2つを実施しました。

中小企業における経営上の個別課題に対して、それを解決するための資源（人材・資金・情報・手段など）を中小企業が自前で整えることが、さまざまな制約から難しい現状です。経営支援は、そういった課題の解決に向けて、さまざまな支援策の活用により、企業が経営資源の集中を図るなど経営上の課題解決とより安定的経営を行うことができるようにすることを目的としています。

第9期においても、起業～成長～発展という企業の経営サイクルに合わせて、「マネジメント・サポートデスクの実施」「専門家派遣等によるサポート」「会議室の提供」「ビジネス法律相談」を実施しました。

活性化成長支援は、多くの経営課題を克服し、安定した経営・事業展開をしている中小企業に対して、一層、その活性化や新たな成長を促進するとともに、区内の産業の活性化と新たな事業の創出を図ることを目的としています。

本事業においては、優れた製品・サービスの提供や優れた業務活動を行っている優良な中小企業がさらなる成長・発展の契機とするとともに、多くの企業の交流を図り、互いの参考となる取り組みの啓発や促進を図るための事業を実施します。

## 2 起業支援

起業は、経済社会の新陳代謝を促し、経済に活力を与えるとともに、新たな雇用の創出が期待されます。まちみらい千代田では SOHO 事業者・ベンチャー起業の支援、インキュベーション施設活動支援に加え、起業しようとする者を直接支援する「千代田ビジネス起業塾」《女性起業家編》（1回）、《一般起業家編》（2回）の2種類3コースを開催し、起業・事業展開につながるサポートを継続的に実施します。

特に女性の起業意欲は高く、子育て世代を含めサポートを充実していきます。

東京都をはじめ、起業を志す方への講座は多数開催されていますが、まちみらい千代田では、在勤者の多い千代田区という特性に対応した夜間に開講しています。

また、女性講師を中心とした女性対象の講座を開講し、幅広いニーズにお応えします。さらに、第6期に見直した専門分野を学ぶ専門講座は内容をより実践的なものとしています。

他の講座は回数が2回から4回程度のものが大半で、受講人数も30人から50人と多く、受講生および講師とのコミュニケーションが不足がちといわれています。まちみらい千代田で実施する講座は、起業に必要な講座を網羅するため9回とし、受講人数も20名と限定しているため、コミュニケーションも活発な講座となっています。

また、どこよりも早く託児施設を併設したことにより、子育て世代の女性からは、受講に際しての手厚い配慮が大変好評です。



### 3 地方との連携

千代田区をはじめとする大都市は、人材はもとより、食糧やエネルギーなど経済活動や生活全般にわたり、地方に支えられて成り立っています。千代田区と地方とは、お互いの強みを生かし共生の理念に基づき、ともに発展していくことを目指し、連携を拡大していきます。

「市町村サテライトオフィス東京の運営」や「ちよだフードバレーネットワークの連携調整」に継続して取り組み、地方との連携を一層推進します。

# 1 中小企業支援

決算額 36,635,109 円  
(執行率 74.1%)

## (1) 経営支援

### ア マネジメント・サポートデスクの実施（拡充）

□予算額 1,154 千円（第 8 期 54 千円）

□決算額 885,500 円（執行率 76.7%）

□事業内容

中小企業が抱える経営上のさまざまな相談を、窓口・電話・電子メールなどで受け付け、その相談内容に応じて、公的機関の実施している助成制度や補助金などの支援策を紹介・活用するなど、経営課題の解決に向けたサポートを実施します。

□実施時期 通年（随時受付）

□事業実績

	予定	第 9 期実績	達成率
相談件数	150 件	88 件	58.7%
イベント等への参加	15 件	2 件	13.3%

### [第 9 期実施状況]

相談件数は目標件数を下回り 88 件で、達成率は 58.7%でした。

相談件数の減少は、新型コロナウイルス感染拡大により、販路拡大の相談やビジネス大賞等企業の活力に関する問い合わせが少ないことなどの要因と思われます。また、中小企業からの相談は、融資や助成金でコロナ関連が多数を占め、管轄支援機関への直接相談・問い合わせをしていることも件数が減少した要因と思われます。

相談内容は、創業に関する相談が 49 件と、半数を占め、昨年からコロナ禍においても創業のニーズが高まっています。助成制度はコロナ関連から、新たなサービス・製品創出に対するものに移行しているため、協力機関と連携し、適材適所へ案内できるように、取り組んでいきます。

#### ○相談の種類

- ・ビジネス起業塾 11 件
- ・特定創業支援事業 28 件
- ・起業相談 10 件
- ・経営相談 7 件
- ・融資または助成金 7 件
- ・専門家派遣事業 8 件
- ・法律関係（ビジネス法律相談） 5 件
- ・ビジネス大賞 3 件
- ・その他 9 件

○主な相談に対する対応

相談については、内容に関わらず産業まちづくりグループが一次対応を行い、相談内容が所管事業でない場合には、関係団体や区の所管課に対して相談内容を事前に説明した上で、相談者を案内しています。このようにスムーズに相談に対処できる体制・連携を構築しています。

主な相談内容	対応
創業の際の登録免許税減免について知りたい。	特定創業支援事業の認定を受ける必要があると説明。起業塾及び区商工融資等を案内。
個人事業主で海外からの食品加工品の販売を考えているが、総合的に相談したい。	輸入品は、公社海外ワンストップ相談を紹介、経営等は公社および区相談窓口を案内。
法律相談の申し込みをしたい。	緊急性を要する案件だったので、直近で空き枠のあった公社城南支社の法律相談を紹介。

○イベント等の参加

- ・オンデマンドによるクラウドファンディング活用セミナー 65名
- ・DX推進セミナー 18名

[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
相談件数	127件	171件	125件	88件
イベント等への参加	16件	14件	8件	2件

- Q 主な公的支援機関及び協力機関はどのような所がありますか？
- A 公的支援機関として千代田区、(公財)東京都中小企業振興公社、(独法)中小企業基盤整備機構、(地独)東京都立産業技術研究センター、(株)日本政策金融公庫、経済産業省・中小企業庁、東京都産業労働局があり、協力機関として東京商工会議所千代田支部、(一社)千代田区観光協会、千代田区商店街連合会、千代田区商工業連合会、興産信用金庫があります。
- Q どのような相談がありますか？
- A 創業支援、融資や補助金の紹介および受け方、特定創業支援事業、専門家派遣事業、ビジネス法律相談、起業の仕方、インキュベーション施設の紹介、経営や雇用の相談、金融機関の斡旋依頼などがあります。



## イ 専門家派遣等によるサポート

予算額 1,799 千円 (第 8 期 1,656 千円)

決算額 1,083,035 円 (執行率 60.2%)

事業内容

(公財) 東京都中小企業振興公社が実施する専門家派遣事業、(地独) 東京都立産業技術研究センターが実施するオーダーメイド型技術支援事業および依頼試験を利用した企業に、その利用料金の一部を助成します。

これにより、各機関の支援制度の活用を促進し、企業の負担軽減を図ります。

実施時期 通年

事業実績

	予定	第 9 期実績	達成率 (会社数・回数)
専門家派遣	15 社 120 回 派遣	14 社 96 回	93.3%・80.0%
オーダーメイド型技術支援	2 件 30 回 派遣	0 社 0 回	0.0%・0.0%
依頼試験事業	3 社 6 回 利用	2 社 3 回	66.7%・50.0%

### [第 9 期実施状況]

専門家派遣は 14 社、オーダーメイド型技術支援は 0 社、依頼試験は 2 社の申請がありました。

(公財) 東京都中小企業振興公社の専門家派遣は、利用企業が多く高い達成率となりました。本事業は、今後も需要が継続的に続くことが予想されるため周知に努めます。(地独) 東京都立産業技術研究センターのオーダーメイド型技術支援は、1 社の申請がありましたが、コロナ禍で実施が出来ずキャンセルとなり、目標を達成することができませんでした。また、依頼試験も、回数 3 回と目標を達成することができませんでした。

技術支援助成については、(地独) 東京都立産業技術研究センターと連携し、千代田区内の事業所へ十分な周知を行い利用拡大に努めます。

#### ○専門家派遣の主な支援内容

- ・ IT、プログラミング、AI 等に関する事業計画策定
- ・ 新規個人客向け自社 EC サイトのリニューアル、オンライン活動強化
- ・ ISO9001 新規認証を受けるための支援
- ・ コロナ禍における経営戦略に関するアドバイス等
- ・ Web マーケティング、SEO、SNS 関係、ソーシャルメディアの経営活用
- ・ プライバシーマーク取得に関するアドバイス

#### ○依頼試験の主な内容

- ・ 床衝撃音レベル低減量
- ・ ピリング試験

[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
専門家派遣	15社 104回派遣	16社 103回派遣	15社 109回派遣	14社 96回派遣
オーダーメイド型技術支援 (旧:実地技術支援)	2社 28回派遣	1社 20回派遣	1社 5回派遣	0社 0件
依頼試験	— —	— —	1社 2回実施	2社 3回実施

\*助成の仕組み

○専門家派遣

1回あたり23,500円の専門家派遣謝礼の半額を(公財)東京都中小企業振興公社が補助し、11,750円で最大8回まで利用できる制度ですが、さらにまちみらい千代田が1回あたり1万円を助成することで1,750円/回で専門家派遣を受けることができます。

○オーダーメイド型技術支援(旧:実地技術支援)

1日11,700円(限度日数無し)で技術指導を受けられますが、まちみらい千代田が1日1万円の助成をすることで、最大20回まで1,700円/日で利用できます。

○依頼試験

1回あたり数千円から数万円で材料試験や精密測定を受けられますが、まちみらい千代田が1回あたり2分の1の助成(上限30,000円)をすることで、より安価に新製品の開発や製品の改良に向けた試験を行うことができるようになります。

## ウ 会議室の提供

□予算額 35,524 千円 (第 8 期 35,524 千円)

□決算額 30,585,866 円 (執行率 86.1%)

□事業内容

用途に応じた広さの会議室や打合せ場所の少ない中小企業の実態から、ちよだプラットフォームスクウェア 4 階・5 階の会議室を貸し出します。

□実施時期 通年

□事業実績

	予定	第 9 期実績	達成率
貸出時間	21,000 時間	6,847 時間	32.6%

### [第 9 期実施状況]

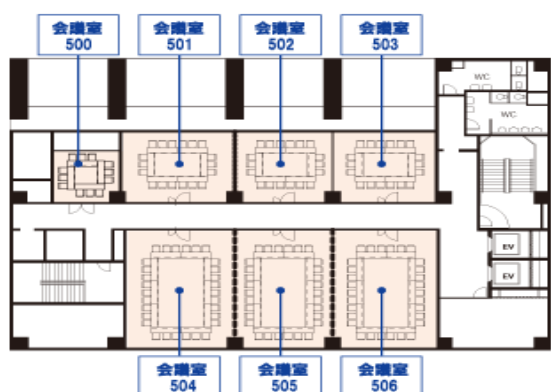
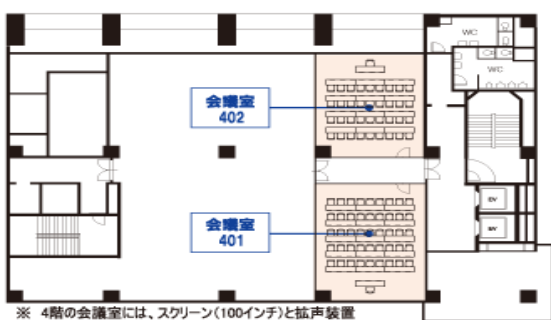
新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言などの影響で、貸出しの中止や貸出し時間の制約が長期間続いたため、稼働率は昨年以上に厳しい状況となっています。

コロナ禍において、オンラインの会議・セミナーが定着しつつありますが、感染者数が減少する中で、集合型の会議・セミナーの実施も増えつつあります。

対面での会議や打ち合わせ等の有用性は依然として高く、利用者のニーズを把握しながら、区内中小企業の事業活動に資する施設運営に努めていきます

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
貸出時間	19,665 時間	15,246 時間	10,285 時間	6,847 時間



## エ ビジネス法律相談（拡充）

□予算額 408 千円（第 8 期 393 千円）

□決算額 310,300 円（執行率 76.1%）

□事業内容

自社内に法務担当を置くことが困難な中小企業において、契約や労務など事業活動中に発生するさまざまな法的対応が必要な事例に対して、的確な対応ができる弁護士によるアドバイスを行います。（予約制）

□実施時期 通年（随時受付）

□事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
相談件数	20 回	15 回	75.0%

### [第 9 期実施状況]

随時受付を行い、利用者の希望する日時で相談を行っています。目標（20 回）には、到達しませんでした。第 9 期は過去に利用した企業が、3 社利用しています。

第 9 期より利用時間を 10 時～16 時から、9 時～19 時に拡大したことやオンライン対応により利用しやすくなったことを、まちみらいニュースや区内掲示板、チラシ等で周知を行い、利用者の拡大を目指した結果、下期だけで 9 件の相談を受けることができました。

また、新規利用者は、Web 検索からの利用が多いため、SNS 等を活用し、新たな利用企業の発掘に努めます。

#### ○主な相談内容

- ・著作権保護について
- ・損害賠償請求について
- ・風評被害について
- ・会社継続に係る手続きについて
- ・業務提携、委託に係る契約書について

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
相談件数	10 社 16 回	11 社 13 回	11 社 17 回	14 社 15 回

## (2) 活性化成長支援

### ア 千代田ビジネス大賞の実施

□予算額 10,423 千円 (第 8 期 9,558 千円)

□決算額 3,764,024 円 (執行率 36.1%)

□事業内容

中小企業の成長発展を支援する一環として、経営革新や経営基盤の強化に取り組んでいる中小企業や他の企業の模範となる優れた中小企業を「千代田ビジネス大賞」で表彰します。これは、当該企業のさらなる発展のきっかけづくりも目的としています。

□実施時期

募集開始 6月中旬～8月末日

調査期間 7月下旬から随時実施、11月未迄

審査会 12月中旬

諮問委員会 1月中旬

表彰式 2月上旬

フォローアップ経営相談 3月～5月

□事業実績

	予定	第 9 期実績	達成率
応募企業	30 社	35 社	116.7%

### [第 9 期実施状況]

コロナ禍にもかかわらず、予定数を超える 35 社のエントリーがありました。そのうち 26 社が二次審査（現地調査）へ進み、中小企業診断士がヒアリングを実施しました。表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、授与式を行いました。応募企業の業種は幅広く、経営コンサルティング、不動産業、ソフトウェア開発、情報サービス、科学製品製造・販売、人材紹介など多岐にわたる業界よりご応募いただきました。

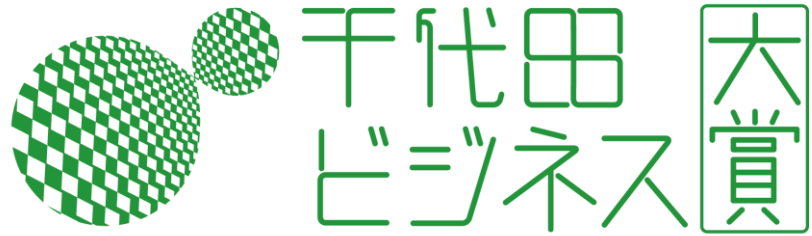
今期は、大賞以下、千代田区長賞、東京商工会議所千代田支部会長賞、東京中小企業家東友会千代田支部長賞の該当がなく、優秀賞（2社）、特別賞（3社）の5社が受賞となりました。

また、受賞を逃した応募企業に対してのフォローアップ経営診断は 13 社から申し込みがあり、中小企業診断士により今後の課題・改善点等のアドバイスを行うことで、さらなる経営の発展につなげました。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
応募企業	30 社	30 社	—	35 社
ノミネート企業	27 社	25 社	—	26 社
表彰企業	8 社	10 社	—	5 社

第13回千代田ビジネス大賞 表彰企業



## イ インキュベーション施設活動支援（拡充）

□予算額 150 千円（第 8 期 120 千円）

□決算額 6,384 円（執行率 4.3%）

□事業内容

プラットフォームサービス株式会社をはじめ、千代田区内のインキュベーション施設（SOHO 事業者・ベンチャー企業の支援施設）を運営する事業者の定期的な情報交換の場として「インキュベーション施設連絡協議会」を設け、相互の連携を深めていきます。また、インキュベーション施設入居者に対して、補助金制度および融資制度等を紹介する「出張講座」を開催します。

□実施時期

連絡協議会 テーマ等が発生した場合に、不定期に実施（年 1 回 5 月頃）

出張講座 各施設の要望に応じて順次対応（年 2 回 10 月、4 月頃）

□事業実績

	講座内容の満足度
出張講座	「とても満足」「やや満足」が 8 割以上

※事後アンケートによる 5 段階満足度（とても満足・やや満足・普通・やや不満・とても不満）調査

### [第 9 期実施状況]

連絡協議会は 10 月にオンライン開催しました。6 施設が参加し、各施設の現状報告と意見交換をしました。また、出張講座はコロナ禍に配慮しオンラインで「クラウドファンディング活用セミナー」を配信しました。

連絡協議会はオンライン開催でしたが、コロナ禍での対応やトラブル回避方法など新たに参加した施設の担当者からの質問もあり、活発な意見交換となりました。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
出張講座	「とても満足」「やや満足」が 8 割	「とても満足」「やや満足」が 8 割	未実施	未実施

### ◎参加団体（施設）名

ちよだプラットフォームスクウェア	一番町インキュベーションセンター
クリエイターズオフィス イイブリッジ	四ツ谷レンタルオフィス
ナレッジソサエティ	アイオス永田町
BRIDGE TO SUCCESS THE CROSSPOINT 富士見	I G N I S

## 2 起業支援

決算額 2,575,127 円  
(執行率 52.6%)

### ア ビジネス起業塾の開催（拡充）

□予算額 4,897 千円（第 8 期 4,909 千円）

□決算額 2,575,127 円（執行率 52.6%）

□事業内容

経済社会の新陳代謝、経済への活力、新たな雇用の創出などが期待される起業を促進するため、起業を目指し、あるいは起業後間もない事業者などが、起業に際して必要な知識を取得し、スムーズに起業できることを目的とした講座を実施します。

女性を対象とした「女性起業家編」（1回）と、対象を限定しない「一般起業家編」（2回）の3コース（3回）に分けて実施します。

専門講座は、各コースを修了した受講生を対象に「財務・税務」「マーケティング」について実践形式の講座として実施します。

修了者には、起業・事業展開につながるサポートとして、中小企業診断士による起業相談や起業後のフォローアップ相談を実施します。また、千代田区内で起業した修了者には、創業資金の一部を補助します。

□実施時期

《一般起業家編Ⅰ》 6月～8月 定員20名

《女性起業家編》 8月～10月 定員20名

《一般起業家編Ⅱ》 10月～12月 定員20名

《専門講座》 1月～5月の間で2コース実施 定員各20名

□事業実績

	講座内容の満足度（目標）	第9期実績	達成率
起業塾	「とても満足」「やや満足」が9割以上	「とても満足」「やや満足」が9割	100%
専門講座	「とても満足」「やや満足」が9割	「とても満足」「やや満足」が9割	100%

※事後アンケートによる5段階満足度（とても満足・やや満足・普通・やや不満・とても不満）調査

### [第9期実施状況]

今期は《一般編》2回、《女性起業家編》1回の全3講座を開催し、計58名が受講しました。男女比では、男性13名、女性45名と女性の受講が多くなっています。

オンライン（Zoom）による開催でしたが、全3コースともキャンセル待ちが出る応募状況でした。また、今期も特に女性の受講生が多く、関心の高さが伺えました。

オンライン開催による様々な不具合を危惧しましたが、受講生がオンラインに慣れていることもあり、問題なく実施できました。起業塾の満足度は各コースとも目標値を達成できました。

専門講座は集合型でマーケティング講座を実施しました。実際に受講生が素材（画像データ等）を用意しホームページを作成しましたが、受講生全員がホームページを完成することができました。受講生からは、ホームページの構造が理解できたと、大変好評でした。また、対面で意見交換やアドバイスが受けられ、受講生同志が直接的コミュニケーションをとれたのは、とても有意義で充実したとの声が多数ありました。



○受講修了した方々のアンケート

- ・リモートで受講できたのは良かったが、人脈作りがしにくいので残念だと感じた。
- ・事業計画作成は勉強になり、3名の事業計画発表は資料もすばらしかった。
- ・受講して良かった。特にマーケティングのネット関係は大変参考になった。

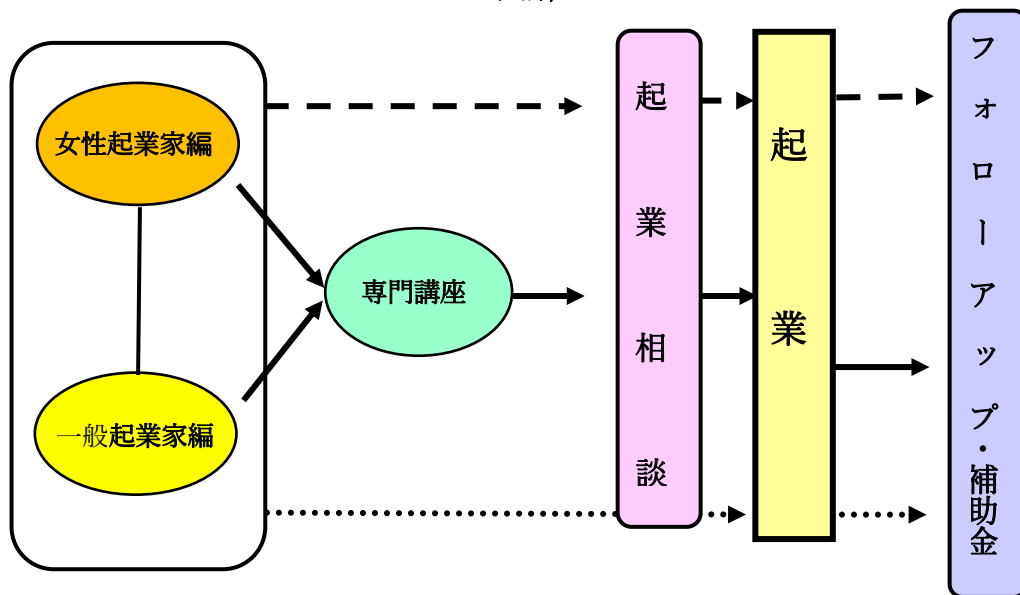
[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
起業塾	「とても満足」 「やや満足」が 9割	「とても満足」 「やや満足」が 9割	中止	「とても満足」 「やや満足」が 9割
専門講座	「とても満足」 「やや満足」が 9割	「とても満足」 「やや満足」が 9割	中止	「とても満足」 「やや満足」 が9割

Q. どのような機関が起業者向けの講座を開催していますか？

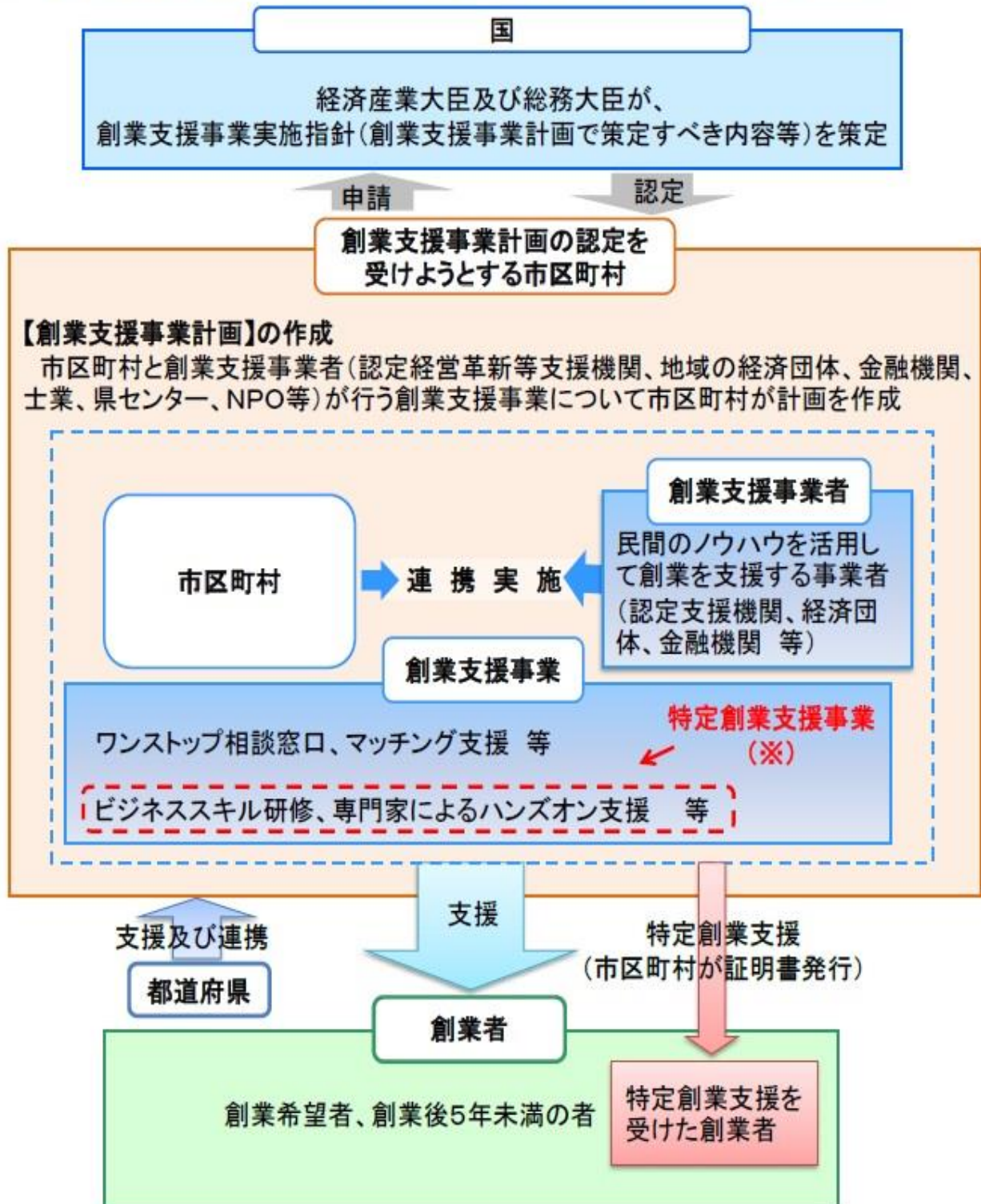
A. まちみらい千代田以外にも、(公財)東京都中小企業振興公社や東京商工会議所、東京都信用保証協会、東京都職業能力開発センター等で講座を開催しています。

《図解》



○平成28年1月に千代田区が経済産業省より創業支援事業計画の認定を受け、まちみらい千代田が実施する「起業塾」が特定創業支援事業となりました。本講座修了生は創業補助金の受給対象となるため、今後「起業塾」の修了生から多数の起業家を輩出できるようさらなる充実を図ります。

## 産業競争力強化法における地域における創業支援スキーム



(※)特定創業支援事業とは、市区町村又は認定連携創業支援事業者が創業希望者等に行う、継続的な支援で、経営、財務、人材育成、販路開拓の知識が全て身につく事業を言います。代表的な例としては、4回以上の授業を行う創業塾、継続して行う個別相談支援、インキュベーション施設入居者への継続支援など、1ヶ月以上継続して行う支援が考えられます。

### 3 地方との連携

決算額 571,500 円  
(執行率 31.3%)

#### ア 市町村サテライトオフィス東京の運営

予算額 180 千円 (第 8 期 180 千円)

決算額 0 円 (執行率 0%)

事業内容

単独では東京に拠点を設けるのが困難な地方の市町村等が、東京で活動するときの拠点として活用できるように「執務機能」「交流機能」「情報発信機能」を安価で提供します。

実施時期 通年

事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
新規利用	2 団体	0 団体	0.0%

#### [第 9 期実施状況]

コロナ禍においてオンライン会議等の普及に伴い、地方から東京へ上京する自治体が減少し、イベントの開催も限定的な状況であるため、令和 4 年 3 月 31 日(木)をもって、市町村サテライトオフィス東京は、閉鎖しました

コロナ禍でのオンラインの普及、地方との関わり方が急激に変化している中、これからの共生について検討していきます。



#### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
新規利用	0 団体	1 団体	1 団体	0 団体

#### ◎利用団体 (7 団体)

- 島根県海士町 ● (公財) 釜石・大槌地域産業育成センター (岩手県釜石市)
- 秋田県五城目町 ● 静岡県西伊豆町 ● 長野県飯綱町
- 東京都御蔵島村 ● (一社) 地域商社ビレッジプライド 邑南 (島根県邑南町)

## イ ちよだフードバレーネットワークの連携調整（拡充）

□予算額 1,645 千円（第 8 期 1,576 千円）

□決算額 571,500 円

□事業内容

千代田区が持つ集客力、情報発信力を生かして、「場」の提供を求める地方都市との交流を深める考えから、千代田区商工振興基本計画の中で「農商工連携による地方都市との交流促進」をうたっています。千代田区商工振興基本計画の内容を踏まえ、区および関係団体と連携し、生産地と消費地が協力し合い、互いの地域産業振興を図ることを目的に、ちよだフードバレーネットワーク（現在 79 市町村、地域団体が加入）の取り組みが効果的に推進できるよう調整を図ります。

また、フードバレーネットワークへの参加団体に好評な「ちよだいちば」の棚貸しサービスへの支援を行います。

□実施時期 通年

□事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
イベント	8 回	5 回	62.5%
棚貸しサービスへの支援	12 回	12 回	100.0%

### [第 9 期実施状況]

コロナ禍でイベント実施が難しい状況ではありますが、オンライン開催にする等の工夫により多数の方が参加しました。

なお、ちよだフードバレーネットワークは令和 4 年 4 月から、都心と地方自治体の連携を目的としつつ、総合的かつ相互方向性のある連携を図る「ちよだ地方連携ネットワーク」に発展しました。



#### ①千代田区農業体験ツアー

（※千代田区民が、ちよだフードバレーネットワーク加盟の自治体や地域で農業体験するためのセミナー）

- ・埼玉県ときがわ町での稲刈り体験-10月10日(日)、参加者 23 名-
- ・長野県東御市でのりんご収穫、ワイナリー見学-11月21日(日)、参加者 26 名-

#### ②ちよだ食農体験セミナー（千代田区内で実施）

- ・あんずジャム作り（長野県長野市の相澤農園と協力）

オンライン開催とし、あんずを直接参加者へ送付して、自宅でジャムづくりを行っていただきました。-6月27日(日)、参加者 44 名-

- ・ときがわ町の小麦を使ったピザ作り教室-10月3日(日)、参加者 26 名-

③マルシェの開催

- ・秋葉原公園にて大規模マルシェを実施-11月19日(金)～20日(土)、参加10団体-

④ちよだいちばへの支援

- ・ちよだいちばの売り場（棚）代の一部を補助  
月額使用料16万円を千代田区が8万円、まちみらい千代田が4万円を補助  
※サブ利用の場合は半額

○利用自治体・団体

- 6月 新潟県糸魚川市
- 7月 愛媛県松野町
- 8月 大分県国東市、広島県世羅町
- 9月 佐賀県佐賀市、北海道鹿部町
- 10月 茨城県取手市、宮崎県都農町
- 11月 石川県能登地域、島根県西ノ島町
- 12月 鈴鹿市、邑南町
- 1月 下関市、能代市
- 2月 屋久島町
- 3月 加須市、上天草市
- 4月 島根県巴南町
- 5月 佐賀県佐賀市

[近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
イベント	15回	10回	11回	5回
棚貸しサービスへの支援	12回	12回	12回	12回



# 協働まちづくり

～理解と協力のまちづくりに向けて～

「集う」をテーマに、皆で取組む魅力あるまちづくりのお手伝いをします

第 8 期決算額

39,219,895 円

第 9 期決算額

37,031,712 円

## 1 まちづくり活動支援

千代田まちづくりサポート事業は、市民自らの活動やこれから始めようとする活動を支援するもので活動支援の核となっており、昨年 20 周年を迎えました。コロナ禍で応募数は例年より減少しましたが、意欲的なグループからの応募がありました。

最初は思いやひらめきで小さな活動として始まったグループが、その過程で各メンバーのアイデアや工夫など幅を広げ、地域住民とつながりを持ちながら、実に熱心な活動に発展しました。こうした活動は、地域資源となって共有され、新たなまちづくり活動の材料やヒントとなって発展してきています。そのために、その活動を支援し続け、まちづくり活動を点から線・面に広げていくことが重要です。

今後も、この事業を財団のアイデンティティとして育てていくため、周知活動に注力しながら、地域のまちづくり活動の輪となるよう努めていきます。

## 2 情報の発信と交流

実施している事業を広く紹介し、大勢の人に知ってもらうため、紙の媒体だけでなく、ウェブサイトはもちろん SNS による「Facebook」や「Twitter」での発信にも力を入れています。特に、「まちみらいニュース」では、多くの方が手に取って次号を毎回楽しみにしてもらえるよう、創意工夫と読み手側の視点に立った紙面作りを目指していきます。

# 1 まちづくり活動支援

決算額 12,639,205 円  
(執行率 49.2%)

## ア 千代田まちづくりサポートの実施（拡充）

□予算額 21,201 千円（第 8 期 21,862 千円）

□決算額 10,869,925 円（51. 3%執行率）

□事業内容

自主的なまちづくり活動を行っているグループに対して、その活動経費の一部を助成します。「はじめて部門」「一般部門」「テーマ部門」「普請部門」の 4 部門で在住・在勤などの枠を超えた多様なまちづくり活動を支援します。助成の公平性とグループ相互の交流を図るため、審査会や活動成果発表会はすべて公開方式で実施します。

また、同じ活動に対する助成は 3 年が限度となるため、その後の活動支援（クラウドファンディングの手数料助成制度）も行います。

□実施時期 通年

□事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
応募グループ数	13 グループ	8 グループ	61.5%

内訳

部 門	応募グループ数	助成グループ数
一般（3 回目）	2	2
一般（2 回目）	2	1
一般（1 回目）	1	1
テーマ	テーマ設定者の応募がなかったため、募集はなし。	
はじめて	3	2
合 計	8	6

### 【第 9 期実施状況】

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リアルとオンラインを融合させたハイブリッド方式で発表会等を開催しました。さまざまな制限がある中、千代田区を元気ある魅力的なまちにする活動を続けるグループを「一般社団法人千代田まちづくりプラットフォーム(まちプラ)」とともに支援しました。クラウドファンディングの手数料助成制度は、第 9 期では申請はありませんでしたが、卒業グループから、今後活用したいとの声がありました。

引き続き、オンラインを活用しながらまちづくり活動支援を行うほか、助成グループ同士の交流や連携が図れるよう取り組んでいきます。

また、広報紙や SNS を連携させ活動状況をこまめに発信することで、助成グループを支援し、さらに応募グループの掘り起こしを行っていきます。

### ①活動概要

ア)応募相談・受付 5月10日(月)～6月18日(金)

5月から応募相談を開始し、12グループから相談がありました。コロナ禍で先の見通しを立てるのが難しい中、最終的に8グループから応募がありました。

イ)公開審査会>7月18日(日)

応募グループから活動企画内容の発表後、審査委員から質疑応答を経て審査を行い、助成グループと助成金額を決定しました。審査会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためオンラインで開催し、当日は「YouTube」でライブ配信しました。

ウ)中間発表会>11月14日(日)

中間発表会は、リアルとオンラインを融合させたハイブリッド方式で「Zoom」を活用して開催しました。助成グループからこれまでの活動状況と今後のスケジュールについて発表、報告がありました。

エ)活動成果発表会>令和4年4月17日(日)

中間発表会と同様に「Zoom」を活用して開催し、助成グループから、1年間の活動について発表、報告がありました。審査会委員からのアドバイスはもちろん、卒業したグループからその後の活動における工夫やヒントも披露され、実りある発表会となりました。

オ)サポート通信の発行 年2回(6月No.36号、10月No.37号)

活動成果発表会をNO.36号に、また公開審査会をNo.37号で掲載し、発行しました。主な配布先は、審査会委員、助成グループ、卒業グループ、区関連施設、賛助会員です。

カ)助成グループへの支援

コロナ禍でまちづくり活動に制限のある中、助成グループは創意工夫を凝らしたイベントを開催しています。広報紙「まちみらいニュース」やSNSでその周知を図るなどの支援に努めたほか、助成グループから活動の相談を随時受け付けています。

キ)まちサポ事業紹介 9月13日(月)~16日(木)

法政大学の学生に、千代田まちづくりサポート事業を紹介しました。事業に関心を持ってくれた学生に、本事業への参加や情報発信の協力を依頼しました。

## ②運営体制

### ア)事業運営

第8期に引き続き、過去の助成グループや審査会委員経験者を中心に構成された「まちプラ」と協働契約を締結して事業を運営しています。月例の定例会に出席し、公開審査会等の企画についての協議や意見交換、助成グループの活動情報を共有し、ともに支援をしています。

### イ)市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議 (書面開催7月・2月)

例年7月に開催される総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、書面決議による方法で開催されました。

## [近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
応募グループ数	18グループ	10グループ	13グループ	8グループ

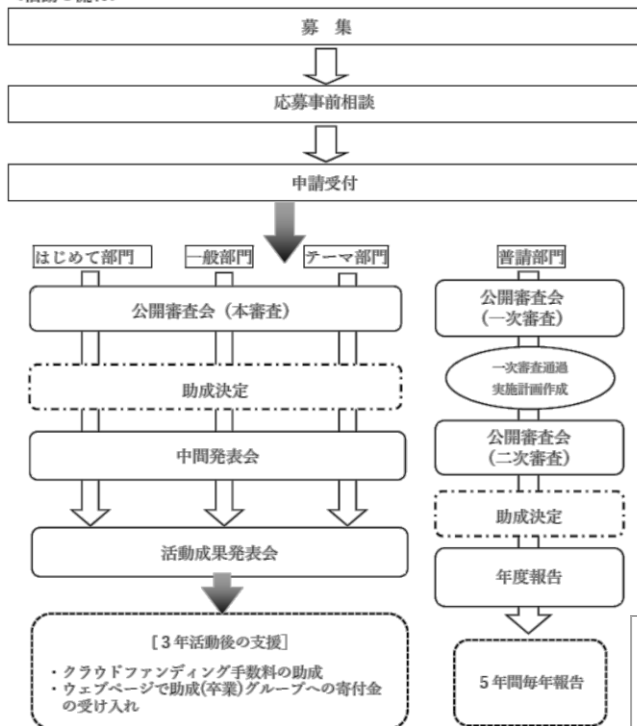


<第21回千代田まちづくりサポート 応募グループと助成額>



部門	回数	グループ名	申請額 (万円)	助成額 (万円)
一般	3	グリーンネイバーフッド千代田を目指す会	44	37
	3	ちよとも	38	28
	2	「着がえる家」実行委員会	50	0
	2	神田でパンダ	50	42
	1	番町っこ倶楽部	50	43
はじめて	-	御茶ノ水エキメロ推進会 ※助成辞退	5	0
	-	神保町フラメンコの会	5	5
	-	おかゆスタンド	5	5
合計			247	160

<活動の流れ>



- はじめて部門 (1年間のみ)  
活動の実施内容の詳細が決まっていない場合などお試しの活動に助成します。
- 一般部門 (最大3年間)  
自立して継続を目指す活動に対して助成します。最大3年間応募可能です。
- テーマ部門  
ある特定のテーマについて、活動を募集する部門です。
- 普請部門  
まちづくり拠点のための空き室リノベーションや、歴史的建造物、使われていない空地などを改修、改造して活用する活動に対して助成する部門です。

▲千代田まちづくりサポート通信 No.37



## イ 区の花さくら再生基金の管理

□予算額 4,509 千円（第 8 期 7,514 千円）

□決算額 1,769,280 円（39.2%執行率）

□事業内容

区の花さくらの周知活動や保全活動の助成金となる基金の管理を行います。

さくらに関する普及啓発活動を実施している NPO やボランティア団体などに対し、その活動費を助成します。また、区内のさくら管理者に対し、その保全のためにかかる経費の一部を助成します。

□実施時期 通年（寄付金・さくらサポーター会費の受け入れは随時）

4月 活動募集

10月 さくら基金助成審査会（助成先の決定）

3月 区の花さくら連絡会

□事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
助成団体	5 団体	5 団体	100%

### [第 9 期実施状況]

基金運営委員会は 10 月 13 日（水）に開催され、提出された 5 団体の申請内容について審査を行い、1,764,000 円の助成が決定しました。また、令和 4 年 3～4 月開催の観光協会主催「さくらまつり」の中止に伴い、基金の資源となっている街頭募金活動も中止となり、基金残高が減少しました。

そのため、新たな資金調達方法としてクラウドファンディングを実施し、令和 4 年 3 月 12 日（土）～5 月 9 日（月）の約 2 か月間で、12,897,660 円集まり、今後のさくら保全活動費の大きな支援となりました。

引き続き、さくら基金の適正管理に努めるとともに、さくらサポーター事務局（千代田区道路公園課）と情報共有や連携を図っていきます。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
助成団体	7 団体	7 団体	5 団体	5 団体



## 2 情報の発信と交流

決算額 9,145,373 円  
(執行率 91.0%)

### ア 「まちみらいニュース」の発行

□予算額 7,574 千円 (第8期 3,972 千円)

□決算額 7,122,503 円 (94.0%執行率)

□事業内容

まちみらい千代田の広報媒体の一つとして、実施事業の紹介やまちみらい千代田に関連する団体のイベントを掲載します。まちみらいニュースは、区内の関連施設で配布されるほか、「広報千代田」に折り込みで発行します。

□実施時期 毎月 20 日発行

□事業実績

	目標	第9期実績	達成率
発行回数	12 回	12 回	100.0%

### [第9期実施状況]

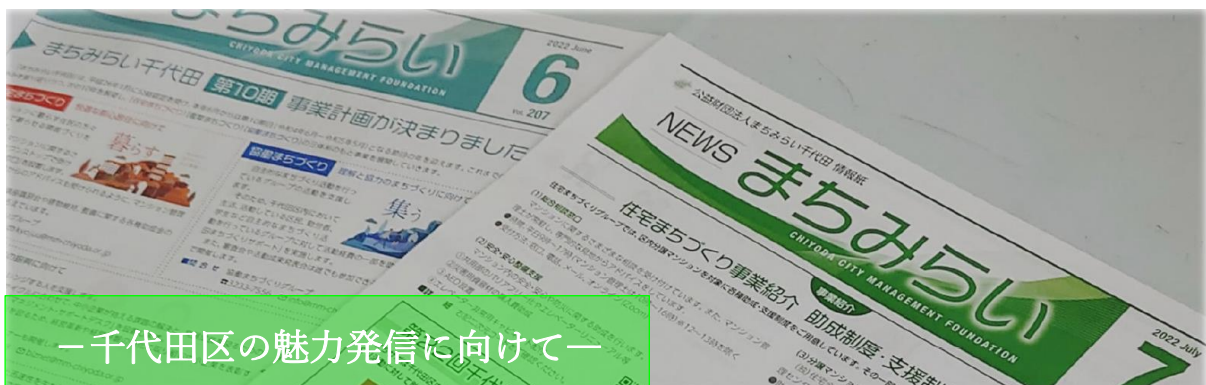
新型コロナウイルス感染症の影響により、主要事業の中止・延期がありました。そのような中で、紙面には「ビジネス大賞歴代受賞企業の紹介」や「社会的関心の高い内容を取り上げたコラム」等を掲載し、読まれる広報紙づくりに努めました。

ネット社会が急速に拡大する中でも、情報発信のために広報紙が果たしている役割は大きいと考えられます。その一方で、情報収集の手段として SNS の利用者が増加していることから、SNS と連動した情報発信を行うことで、これまで以上に区民や中小企業等に対し、わかりやすく主要事業等を伝え、その周知や理解浸透を図ります。

また、紙面に対する意見・感想等の募集を継続し、必要に応じて改善を行います。

### [近年の実績]

	第6期	第7期	第8期	第9期
発行回数	12 回	12 回	12 回	12 回



## イ 事業報告・交流会の実施

□予算額 225 千円（第 8 期 223 千円）

□決算額 174,601 円（77.6%執行率）

□事業内容

まちみらい千代田を支援する賛助会員をはじめ、区民や区内企業等に対して、事業実施状況の報告を行います。

また、交流の場を設けて、参加者同士の意見交換や交流を図るとともに、その中でまちみらい千代田に関心を持った参加者に対しては、賛助会員への入会を促進します。

□実施時期 10 月 4 日（月）午後 4 時から

□事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
事業報告	1 回	1 回	100%
交流会参加人数	法人賛助会員の 20% (11 名) の参加	15.8% (9 名)	79.0%

### [第 9 期実施状況]

第 8 期事業報告書と決算書等を賛助会員へ送付し、事業実施状況の報告を行いました。また、「ちよだプラットフォームスクウェア 17 周年記念鼎談会」と共催で実施し、交流イベントとして開催しました。イベントでは、千代田区神田錦町に縁のある識者が「コロナ後の働き方・オフィス・都市」をテーマに鼎談し、その様子を賛助会員を含む、広く一般にオンライン配信し、計 94 名が視聴しました。

交流イベントを初めてオンラインで開催しましたが、参加人数の大幅な増加にはつながりませんでした。今後は、より多くの賛助会員が興味を持つような企画を検討します。

### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
事業報告	1 回	1 回	1 回	1 回
交流会参加人数	14 名	8 名	中止	9 名

### 賛助会員数

(令和 4 年 5 月 31 日現在)

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
法人	60 社	58 社	57 社	57 社
個人	17 名	15 名	14 名	14 名

## ウ まちみらい千代田ウェブサイトの運用

□予算額 2,252 千円 (第 8 期 2,229 千円)

□決算額 1,848,269 円 (82.1%執行率)

□事業内容

まちみらい千代田の情報を公開するとともに、実施事業周知のための有効なツールとしてウェブサイトを運用します。

そのウェブサイトの利用増加の導線として、「Facebook 広告」を導入して SNS (「Facebook」や「Twitter」) との連携をより一層強化します。

□実施時期 通年

□事業実績

	目標	第 9 期実績	達成率
年間ユーザー数	90,000 名	99,023 名	137.5%

### [第 9 期実施状況]

第 7 期で試行導入した「Facebook 広告」を継続して配信しました。配信した広告は約 730 万回スマートフォン等に表示され、そのうち約 3 万名がウェブサイトへ流入してきました。また、ウェブサイトの利用者増加だけでなく、「Facebook」や「Twitter」のフォロワー数が増加しました。

SNS を活用した効果から、第 8 期実績から年間ユーザー数が約 8000 人増加しました。ウェブサイトでは、SNS で発信した情報をより詳細に掲載し、ユーザーに必要な情報が届くようにしました。

「Facebook 広告」を継続して配信し、ユーザー数の増加を図るとともに、まちみらい千代田の認知度向上に努めます。



### [近年の実績]

	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期
年間ユーザー数	74,016 名	61,616 名	91,227 名	99,023 名

# 理事会・評議員会・監査

定款第21条及び第42条に基づき開催した理事会及び評議員会では、次のとおり各議事について可決・承認を得ました。また定款第35条の規程に基づき次ページのとおり実施された監査において、事業報告及び決算はいずれも適正と認められました。

## (1) 理事会

回	開催日	議案番号	件名
1	令和3年7月29日	第1号	公益財団法人まちみらい千代田第8期事業報告(案)について
		第2号	公益財団法人まちみらい千代田第8期決算(案)について
		第3号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について
2	令和3年9月1日 (書面決議)	第4号	公益財団法人まちみらい千代田 理事長及び副理事長の選定について
		第5号	議決日について
3	令和3年12月7日	第6号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
4	令和4年2月25日  (書面決議)	第7号	公益財団法人まちみらい千代田 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について
		第8号	公益財団法人まちみらい千代田 就業規則の一部を改正する規則について
		第9号	公益財団法人まちみらい千代田 職員の休職及び懲戒等手続規程の一部を改正する規程について
		第10号	公益財団法人まちみらい千代田 役員等賠償責任保険契約の内容について
5	令和4年3月17日 (書面決議)	第11号	議決日について
		第12号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
6	令和4年4月1日 (書面決議)	第13号	議決日について
		第14号	公益財団法人まちみらい千代田 理事長の選定について
		第15号	公益財団法人まちみらい千代田 事務局長の任免について
		第16号	公益財団法人まちみらい千代田 特定費用準備資金等取扱規程の制定について
7	令和4年4月19日 (Web会議システム)	第17号	公益財団法人まちみらい千代田 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について
		第18号	議決日について
		第19号	公益財団法人まちみらい千代田 第10期事業計画(案)について
		第20号	公益財団法人まちみらい千代田 第10期収支予算(案)について
		第21号	公益財団法人まちみらい千代田 第10期資金調達及び設備投資の見込みについて
		第22号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

(2) 評議員会

回	開催日	議案番号	件名
1	令和3年8月25日	第1号	公益財団法人まちみらい千代田 第8期事業報告(案)について
		第2号	公益財団法人まちみらい千代田 第8期決算(案)について
		第3号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員の選任について
		第4号	公益財団法人まちみらい千代田 理事及び監事の選任について
2	令和3年12月15日	第5号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会会長の互選について
		第6号	公益財団法人まちみらい千代田 評議員会副会長の互選について
3	令和4年3月25日 (書面決議)	第7号	公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について
		第8号	議決日について
4	令和4年5月17日	第9号	公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について
		第10号	公益財団法人まちみらい千代田 監事の選任について
		第11号	公益財団法人まちみらい千代田 第10期事業計画(案)について
		第12号	公益財団法人まちみらい千代田 第10期収支予算(案)について
		第13号	公益財団法人まちみらい千代田 第10期資金調達及び設備投資の見込みについて

(3) 監査の実施(第9期事業に関するもの)

回	開催日	場所	内容
1	令和4年1月24日	ちよだプラットフォームスクエア401	公益財団法人まちみらい千代田 第9期事業中間報告
			公益財団法人まちみらい千代田 第9期中間時点での財務諸表
2	令和4年7月8日	同上	公益財団法人まちみらい千代田 第9期事業報告
			公益財団法人まちみらい千代田 第9期決算